

～未来を創る心豊かでたくましい子どもたちを社会全体で育む！～

## 南小学校区わくわく子ども教室 【府中市】

### 教室の概要

○ 教室の目的

心豊かでたくましい子どもたちを社会全体で育むため、放課後におけるスポーツや文化活動などさまざまな体験活動や地域住民との交流活動を実施する。

○ 教室開設の経緯

平成 20 年度に南小学校区わくわく子ども教室実行委員会を設立し、翌平成 21 年度から教室をスタートしている。(実行委員会のメンバー：小学校長、学区民生委員、PTA会長 他)

【開始年度】平成 21 年度	【実施校区】府中市立南小学校区
【開催場所】図書室、体育館、家庭科室等	【コーディネーター人数】1人
【開催日・開催時間】毎週水曜日 14:40～16:40	【安全管理員人数】1人
【年間開催日数】32日	【学習アドバイザー人数】2人
【参加学年・平均参加人数】小学校1～6年生 19人	【ボランティア人数】1人

### 活動内容

○ 一日のメニュー

時刻	活動内容
14:40	指導員集合
15:10～15:40	学習・読書(図書室)
15:40～16:40	諸活動(体育館・家庭科室・運動場) お菓子づくり(おやつ)、ものづくり(木工など) 昔の遊び、ボール遊び、折り紙など
16:40	保護者の迎え→指導員退室

○ 特徴的な活動プログラム

**ケーキづくり** (年1回開催)

スタッフの家族にパティシエがおられ、その方が指導員となり、本格的かつ小学生でも簡単に作るができるおいしいケーキづくりを指導していただいている。



**農作物を育てる体験活動**

小学校区内にある『府中市歴史民俗資料館』と連携し、資料館の職員の方から昔のくらしや古代米の作り方についてのお話を聞き、実際に古代米を植えている。稲穂が実った後には、脱穀も体験している。放課後子ども教室のスタッフが資料館の職員を兼任していることもあり、連携が図りやすい。

(※栗生小学校区わくわく子ども教室でも、稲作を体験し、「田んぼアート」を行っている。)



## 運営上の工夫

### ○ プログラムの企画・立案の工夫

放課後子ども教室のスタッフで、半年毎に、活動プログラムを企画している。

年間を通じて、四季折々の日本の行事（例：柏餅作り、七夕、餅花づくり）を取り入れている。

### ○ 安全管理面の工夫

小学校に入った事故や災害等の緊急連絡については、随時、放課後子ども教室へ連絡してもらおうよう、連携を常に図り、危機管理に努めている。

### ○ スタッフの自主研修の取組

市教委生涯学習課主催の講座など、さまざまなジャンルの講座や講演会に積極的に参加し、各自、資質の向上に努めている。

### ○ 広報活動の工夫

府中市HP内職員ブログ「ふちゆうに夢中」で、教室での活動の様子について掲載している。

### ○ 児童・保護者のニーズの把握の工夫

児童、保護者にアンケート調査を実施している。なお、アンケートは、様式を市教委生涯学習課で作成し、府中市内の全ての放課後子ども教室で実施してもらっている。

### ○ 学校との連携における工夫

放課後子ども教室の開催日には、活動終了後、活動の状況を学校に知らせている。また、活動に使用する道具の準備など、学校に協力してもらっている。

### ○ 保護者との連携における工夫

年度当初に保護者を集めて、教室の活動予定や指導の仕方について、具体的に説明する機会を設けている。また、日常的には、終了時の迎え時間に保護者と挨拶を交わす中で、連携を図っている。



～餅花作り～

## 事業を実施して

### 【参加者の声】

#### （児童の声）

- ・ 古代米のことを初めて知った。茎の部分も黒くてびっくりした。
- ・ 体育館で体を動かす活動が楽しい。

#### （保護者の声）

- ・ 日頃家庭ではできない体験をすることができ、喜んでいる。

#### （スタッフの声）

- ・ 子どもたちの喜ぶ顔を見るのが嬉しい。

### 【成果と課題】

様々な活動を通して、高学年が低学年のサポートをする姿が増えてきた。1年生から6年生までいる中で、皆が楽しんでできる活動を仕組むことが課題の一つである。



～古代米の田植え～

